

今年の抱負

藤谷 健二 さん（つるせ台小学校 校長）



あけましておめでとうございます。つるせ台小学校に着任して10ヵ月余りがたちました。つるせ台小学校の子どもたちは、あいさつがよくでき、歌声は美しく、話しを聞く態度も素晴らしく本当に素敵な子どもたちです。昨年につるせ台小学校の運動会と地区体育祭を同一開催で実施するなど、まちづくり協議会の皆様と新たな試みにチャレンジし、より多くの方々に楽しんでいただくことができました。

今年の抱負として、まずは子どもたちが毎日楽しく学校生活を送ることができるように教職員全員で創意工夫をし、充実した教育活動にしていこうとします。次に子どもたちが学校や住んでいる地域のことを再発見できるような試みも考えています。そして、よりよい地域になるように子どもたちも参画できる仕掛けを、まちづくり協議会の皆様と協力して作りたいと思っています。

今年やってみたいこと

萩原 弘 さん（鶴馬）

2年前、米寿になったときテスト的に「自分史」を記念として作ってみました。今年はそれに私が生きた昭和、平成、令和に撮りためた写真を整理して加えようと思います。それらを眺めた時、当時の楽しい思い出がよみがえってくることでしょう。この自分史を後世の人々がみた時、今の社会をどんな風に感じるか面白いです。



これから手を加えようとしている米寿記念の本の表紙

今年やってみたいこと



今年は巳年です。「巳」は蛇のイメージから「再生と変化」を意味します。脱皮し強く成長する蛇は、その生命力から「不老長寿」を象徴する動物、または神の使いとして信仰されてきました。

2025年の巳年は「蛇の鋭い洞察力で自分の道を切り開く年にしたい」ものです。今年は良い年になるといいですね。今回は5人の方に今年やってみたいことを語っていただきました。



子どもたちを笑顔に

福島 きみ さん（鶴瀬西3）

鶴瀬西交流センターだより2021年1月号「今年の抱負」に、“今年こそ子ども食堂をやりたい”と書いたことがきっかけで、子ども食堂を始めることが出来ました。“手伝うよ”と何人かが声をかけてくれたので、会の規約を作り、道具を買い、宣伝方法を考え、3月に始め5年目に入ります。

やりたいことは声に出すべし。そうすると、誰かが助けてくれる、そう思います。回を重ねるごとに、人の輪が広がっていくのを実感しています。

今年は、子ども食堂が地域の方々の居場所、特に子どもたちの居場所になるような企画を充実させていきたいと思っています。出来ることを、出来る人が、出来るときにやる。その力が、子どもたちを笑顔にし、家族・地域を明るくしてくれればと思います。楽しみです。



「子ども食堂まんぷく」楽しく遊んでいます

勉強して、資格を取る

栗田 しのぶ さん（鶴瀬西2）

目指す資格が決まっている訳ではなく、久しぶりに勉強してみようかなと計画しています。きっかけは、放送中のドラマ「宙わたる教室」です。舞台は定時制高校の科学部で、年齢も背景も異なる生徒同士

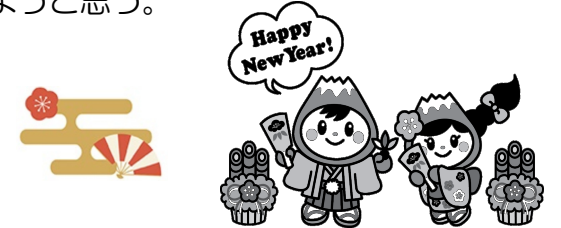


の衝突や交流が描かれています。私は、生徒の知ること勉強することへの純粋な欲求に、毎回感動しています。勉強とは本来こういうものなのだと胸が熱くなるのです。ついには、資格を取ることを目標に、自分も勉強したくなりました。今は受験シーズン。将来のために、頑張っている受験生にエールを送りたいです。私も頑張ります。三日坊主になりませんように。



元旦早朝の空気は清々しく、新年の始まりを実感しうれしくなる。仏壇に「今年がよい年である。茶道の先生が「無事貴人」と書かれた掛け軸を見ながら、若い人にはこの書の意味はまだ分からないと言われた。先生と同じ年齢に私もなった。東北の大震災以降、日本や世界の多くの国で異常気象による大災害や地震、火災が頻発している。戦争も世界中で人々が平和を求めているのに止むことがない。今年は混乱の一年になるかもしれない。嘘や心無い情報に惑わされず、心平らかに毎日を暮らしたい。（熊井）

★ あとがき ★



今年もよろしく
お願ひします
編集委員一同

